



教員紹介

リハビリテーション学部

恩田 真也 ONDA Shinya

職位	助手
最終学歴	吉備国際大学大学院（通信制）保健科学研究科作業療法学専攻修士課程修了
職歴	IMS グループイムス板橋リハビリテーション病院 医療法人昌峰会加藤病院を経て、現職
学位	修士（作業療法学）
資格（免許）、認定	作業療法士 / 認定訪問療法士 / MTDLP 実践者 / AMPS 認定評価者
担当科目（学部）	基礎作業学
担当科目（大学院）	
学生へのメッセージ	作業療法士は、対象者のその人らしい生活に向けて、従来の医療・介護・福祉分野にとどまらず、労働・司法・教育分野など様々なフィールドへ活躍の場を広げています。生活を彩る“作業”を専門とする作業療法と一緒に学んでいきましょう。
研究内容	作業バランスに関する研究 予防的作業療法に関する研究
研究分野キーワード	作業バランス / 予防的作業療法 / 作業機能障害 / 作業療法理論
URL	https://researchmap.jp/s.onda
著書	
論文	1) 恩田真也, 森田秋子, 鯨坂麻希子: 外来作業療法における認知関連行動アセスメント (Cognitive-related Behavior Assessment ; CBA) の臨床有用性—OT と患者家族間で CBA を活用した一事例—. 作業療法 43 (4), 2024 (in press). 2) 恩田真也: 予防的作業療法のための作業バランス評価の開発と尺度特性の検討, 修士学位論文, 2024.
学会発表	1) 二口慧也, 恩田真也: OBP2.0 と MOHO の活用により自宅復帰に向けた多職種協働が促進された事例—元看護師としてのセルフアセスメント・余命を勘案した作業同一性の共有—. 湘南 OT-Web 学会, 2024

	<p>2) 恩田真也, 森田秋子, 鯨坂麻希子: 役割再開に向けて OT と家族間で「CBA (認知関連行動アセスメント)」を用いた高次脳機能障害者の一事例. 第 57 回日本作業療法学会, 2023.</p> <p>3) 恩田真也: 作業機能障害の種類と評価 (CAOD) の応用的使用による実践. 第 7 回日本臨床作業療法学会 on Web, 2021.</p> <p>4) 恩田真也: 復職に向けて作業遂行のプロセス技能に着目して介入した事例. 第 19 回東海北陸作業療法学会, 2019.</p> <p>5) 恩田真也, 渡邊祥平, 加藤早紀子: 作業機能障害について CAOD で自己評価することで新たな作業参加に繋がった事例. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.</p> <p>6) 恩田真也, 伊藤泰士, 大野勘太: 自己効力感の向上によって役割を再獲得した事例. 第 14 回東京都作業療法学会, 2017.</p>
<p>社会的活動</p> <p>(公開講座・講演・国際交流など)</p>	
<p>その他</p>	<p>【所属学会】</p> <p>1) 日本作業療法士協会</p> <p>2) 日本訪問リハビリテーション協会</p> <p>3) 愛知県作業療法士会</p> <p>4) 日本臨床作業療法学会</p>